

こちら 健康情報局



No. 17

”エイズ“ — 目をそらさないで 考えてみよう!

(平成14年度 我が国における
世界エイズデーの主題)

彦根保健所 保健師 藤田悦子

また、感染者の84・9%が性的接触による感染で、77・9%が国内で感染したと推定されています。

エイズってどんな病気?

エイズは、HIVというウイルスに感染しておこる病気です。HIVに感染すると1〜2か月間風邪のような症状があり、その後無症状の状態(潜伏期間)が平均10年間ほど続いた後、エイズを発症します。免疫機能が働かなくなるため、さまざまな病気にかかります。

治療は?

近年、エイズ治療は格段に進歩しており、新薬も次々と登場しています。ただ、薬はずっと飲み続けなければなりません。県内では、滋賀医科大学付属病院(大津市)と国立滋賀病院(八日市市)を拠点に治療を行っています。

予防法は?

エイズをはじめとする性感染症予防には、コンドームを正し

検査は保健所で受けられます

く使うことが大切です。最近では女性用のコンドームもあります。HIVの感染力は弱く、しかも感染経路が限られているので、日常の社会生活では性行為以外で感染することは、まずありません。

検査は保健所で受けられます

検査は、全国の保健所で実施しています。費用は無料、匿名で受けられます。彦根保健所では、毎月第1・第3水曜日の午後に実施しています。平成13年度には、52人が検査を受けられました。検査を希望する人は、電話で予約が必要ですが、ひとりで悩んでいないで、まずはご相談ください。



エイズ検査予約電話 彦根保健所内 ☎ 0283番

日本でも 広がっているエイズ

世界エイズデー(12月1日)にちなみ、今回のテーマはエイズです。

日本において、昨年1年間に報告されたHIV(エイズウイルス)感染者とエイズ患者は過去最高の953人でした。一昨年に比べると、患者数はほぼ横ばいでしたが、感染者は159人増加しており、じわじわ感染が拡大しています。HIV感染者は20代に多く、患者(エイズを発症してから見つかるケース)は30代に多い傾向があります。若い人たちの感染の増加とともに、以前にHIVに感染した人たちが次々に発症しています。

▼1月は15日号を発行しないため
休載します。次回(2月)のテーマは、「痴呆ちほうの予防」